

2020年1月20日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

**ドローン社会共創コンソーシアムがシンポジウムを開催（1月27日）
「空飛ぶ車×自動運転×自動車学校～
目前に迫るエアモビリティ前提社会に向けて新たな交通秩序を共創する～」**

慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長：玉村雅敏）ドローン社会共創コンソーシアム（代表：総合政策学部教授 古谷知之）は、一般社団法人全国自動車学校ドローンコンソーシアム（東京都台東区、代表：朽木聖好）とともに、技術・制度・ビジネス・地域課題解決の観点から、エアモビリティ前提社会の展望と新しい交通秩序の形成をテーマとするシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、ドローンや空飛ぶ自動車のように、人・モノ・情報の移動に空を積極的に活用する技術の研究開発・社会実装が進んでいく中、陸と空を活用する先端モビリティの社会展開に焦点を当てます。

前半の講演では国内のキー・パーソンがそれぞれの立場から現在進行形の話題を提供し、後半のパネルディスカッションでは、各パネリストの視点から新しいモビリティ技術の社会受容と、その実現に必要な秩序について、さらにはエアモビリティを「当たり前」にする過程でどのようなデマンドが想定できるかについて議論していきます。

2020年に入り、ドローンや空飛ぶ自動車のようなエアモビリティに関する技術開発は、社会実装に向けてさらに進められます。近い将来、人々の頭上を多くの飛行体が飛び交う社会が実現するかもしれません。そのような社会に不安や危険性を感じる人は少なくありませんが、一方で、空を活用することで解決できる課題や新たに生み出される価値についても注目すべきです。かつて、自動車が社会に普及してきた過程と同じような状況がもたらされると考えられる中、本シンポジウムでは、普及したモビリティの事例として自動車を念頭に置きながら、ドローンや空飛ぶ自動車が当たり前となる「エアモビリティ前提社会」を想像し、その実現に不可欠となる秩序やルールのあり方について、国内の有識者をお招きして議論します。

【概要】

日時： 2020年1月27日（月）13:00～17:00（受付12:30～）

定員： 250名

参加費： 無料

場所： 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール（<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>）共催： 一般社団法人全国自動車学校ドローンコンソーシアム
慶應義塾大学 SFC 研究所ドローン社会共創コンソーシアム申込： <https://bit.ly/2RkGuAx>（メディアの方もこちらよりお申し込みください）

詳細は以下のWEBサイトをご確認ください。

<https://jidocon.org/event/20200127-2>

【懇親会】

シンポジウム終了後の 17:30 から登壇者および参加者の親睦を目的として、懇親会の開催を予定しています。

メディアの方もぜひご参加ください。

会 場：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ファカルティクラブ

参加費：5,500 円（税込）※当日現金でのお支払いになります。お釣りの無いようご準備ください。

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

慶應義塾大学 SFC 研究所 ドローン社会共創コンソーシアム 事務局

U R L： <http://drone.sfc.keio.ac.jp/>

E-mail: drone-consortium@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp

T E L： 0466-49-3436

F A X： 0466-49-3594